

一区 有事に備えて「下の原防災ひろば」

分館長 奥村 守

一昨年の東日本大震災は、決して風化してはならない事実です。過去の大地震など肌で感じ、有事に備えていただければと、第一区屯所前を中心に、地震体験車による地震体験を開催しました。



参加者の中には、続けて何度も体験する人もいて、どうすればこの揺れに対応できるのかと、床に座り机の脚にしがみつくなど試行錯誤する人もいて、真剣そのものでした。それと並行して、普段触れることができない救急車、ポンプ自動車等二台を一挙に展示し、特に今年度購入した災害対応特殊ポンプ自動車には関心が集まり、その機能や装備の説明に目を見張り、聞き入っていました。

第二区の区民文化祭は、十月二十八日百数十名以上の皆様にご参加いただき、開催されました。出展作品は、絵画、水墨画、写真、ご婦人の手芸品、子ども作品、分館活動の中で生まれた陶芸作品等、多岐にわたっています。写真コーナーでは、分館行事スナップ写真を掲示し、終了時には好きな掲示写真を持ち帰ることができました。また、写真愛好家の方々が捉えた驚異の瞬間作品が圧巻でした。



子ども作品の全国ロボコンデザイン優勝ロボ、ロボバトル入賞ロボは話題を集めました。たかじん先生による皮細工体験は、参加者全員が見事に作品を完成させ満足気でした。



当日の朝に皆でついたお餅とお汁粉のサービス。子ども吹き矢コーナーは、一日中笑顔と元気な笑い声に包まれ、大人気でした。

一分館活動を振り返って

分館活動この1年

三区 世界に一冊しかない 手づくり絵本講座

分館長 諏訪 敏和

南小PTAとの共催事業として下諏訪町立図書館の井上喜久美司書にご指導いただき「手づくり絵本講座」を開催しました。約六十名の親子を中心として年配の方の参加もいただき、三時間の予定時間で、色とりどりの画用紙を貼り合わせて本文ペー지를、厚紙と画用紙で表紙を作って製本。余力のある人は、表紙にデコレーションを施しました。



分りやすい指導のもとで、手際よく作業が進められました。製本後はそれぞれ持ち帰って、本文ペー지에思い出の写真を貼ったり絵本に仕上げるなど、世界に一冊しかない個性あふれる本として完成させ、その一部は第三区文化祭に出品していただきました。初めての試みでしたが、ものづくりの楽しさや技法を学びつつ、親子の絆をより深めるよい機会となりました。

四区 ヨーロッパビール講習会

分館長 西山 正男

講師に、リカーハウスながさきの長崎美知子様をお迎えして、ビールの試飲と成り立ちなどの講習を行いました。ドイツ、ベルギー、英国の各種白、黒、ビールなど、日頃味わえないビールを試飲しました。各国のビールについて、成り立ち、飲み方のエチケットなどの講義を受けながらの約二時間の講習会でした。最初は緊張していましたが、時間の経過とともに和気あいあいの雰囲気になり、とても盛り上がった講習会になりました。



これらのビールは少々お値段が張るので、毎日飲むことはできませんが、異国情緒も味わうことができ、楽しい時間の中で、異国の歴史、文化、習慣を学ぶことができました。区民の皆様の良い交流の場となり、楽しいひと時を過ごすことができました。

五区 盛大だったニュースポーツ体験

分館長 長崎 英利

今年度は、新しいことを取り入れたいという気持ちでスタートをいたしました。その中で、町スポーツ推進委員の方々から研修という形で、数種類のニュースポーツを教えてください、中でも皆で楽しめるものとして、チャンスボールとスマイルボールの二種を、南小体育館にて開催しました。



初めての試みのため、区民の方々の参加をとても心配しましたが、子どもから年配の方まで多くの方にご参加いただきました。最初は静かな感じでしたが、途中からは笑い声や歓喜の声に変わり、盛大に執り行うことができました。参加者の方から「来年もう一度、区の行事で行ってみたい」との声もあり、また一つ区の交流行事ができたことを喜んでおります。新しいことへの挑戦が笑顔を作りました。